

公共施設を使ったこと
がない方も大歓迎♪

ようこそ！ 公共施設の今後のあり方 に関する市民ワークショップへ



《 個別配布資料 》

1	市民ワークショップ概要説明	1
2	本市の現状	2
3	出水市公共施設等総合管理計画方針及び再編素案（たたき台）	3
4	使用料見直し基本方針について	9
5	市民アンケート結果	10
	【別 冊】市再編案に対する意見・アイデア等	
6	参考資料（他自治体の取組・国の助成制度）	12

◎A4 1枚 市民ワークショップアンケート（最後に回収箱に入れてください）

※ 下記は各グループごとに配布している資料等です。

1 施設カルテ（紫ファイル）

※ 施設カルテは、市 HP にも掲載しています（スマホ等で確認できます）

2 公共施設写真（緑ファイル）

3 使用料等一覧（ " ）



【用品等】 ○ ふせん（青・ピンク、黄色）

○ マジック類

○ 方眼紙（大）

1 市民ワークショップ概要説明

(1) 市民ワークショップって何？

「創造的な協同作業」を意味する言葉です。市が抱える様々な課題について、参加者が全員で一緒に考えながら、各グループで提案やプランを作り上げていきます。

自由に、気軽に意見を出し合い、それらに触発されて新しいアイデアが次々に生まれていく過程に特徴があると言われています。

参加者のさまざまな思いやニーズ、ノウハウ等を引き出して、今後の施策に活かそうとする試みです。



(2) 今回のテーマ

公共施設の多くが老朽化が進み、その維持管理費が増大する一方、人口減少・少子高齢化が進み、本市においても、将来の財政規模・人口規模に見合った施設の規模の適正化や有効活用が求められています。

そこで、この問題について「どういった再編方法が望ましいか？」「こういった使い方ができないか？」「その行政サービスの提供に必ずしも公共施設が必要か？」等のアイデアについて、参加者同士で議論していただきます。

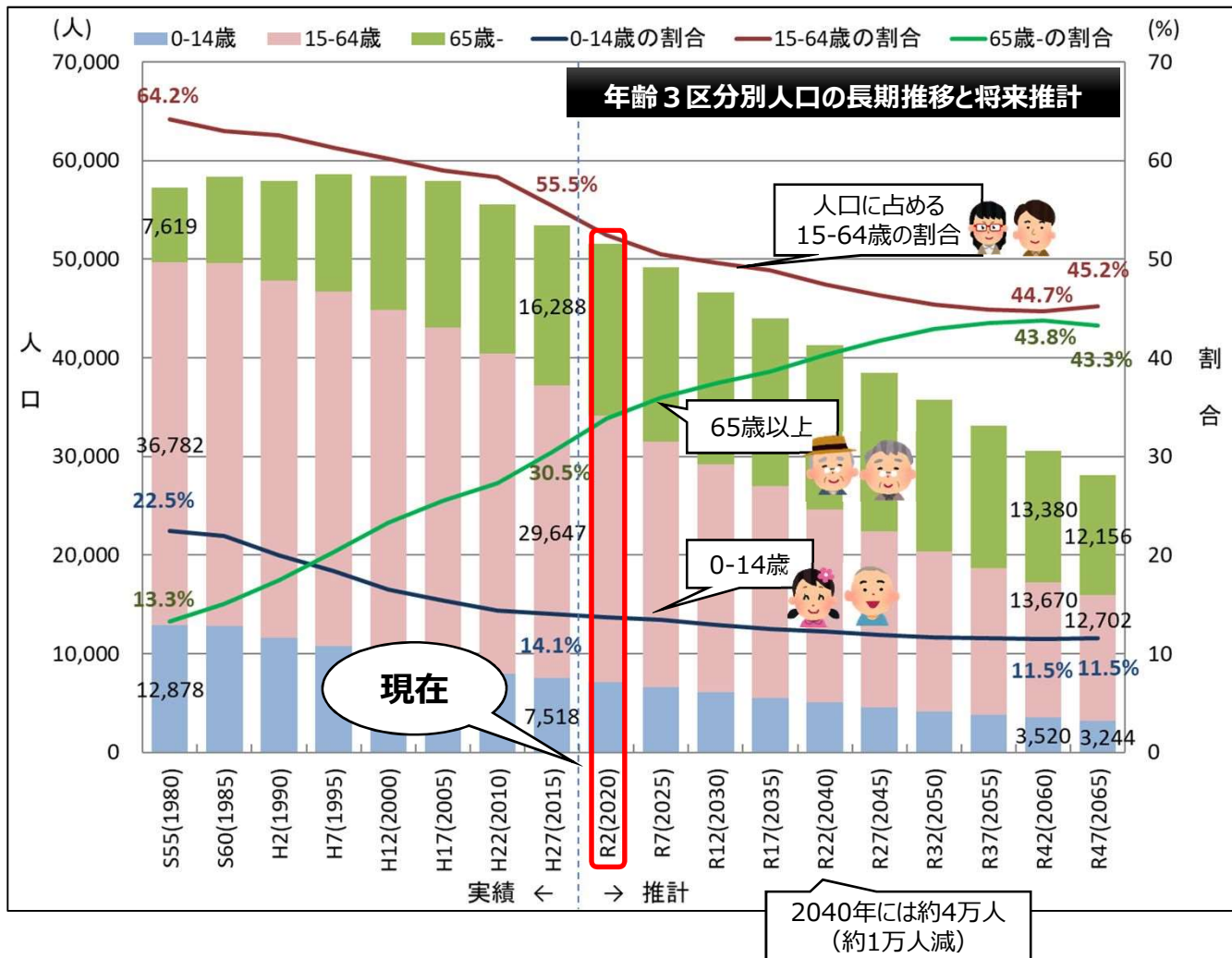
(3) 市民ワークショップの約束

- 「公共施設をこのまま維持していくことは困難である」という現実に対して、自由にアイデアを出してください。

施設の整備方針や新設、統廃合を決定する場ではありません。

- 参加者は対等な立場です。他人の意見は尊重し、特定の地域や団体を批判するような言動は絶対にしないでください。
- 意見が対立しても構いません。なぜそう思うのか、まずは理由を確認し、相手の考えを理解して議論しましょう。
- 公共施設の今後のあり方は、利用者だけで決めるものではありません。コストは非利用者も含め市民全員で負担しています。それぞれの立場で自由に意見を述べて下さい。

2 出水市の現状（公共施設を取り巻く状況）



出水市の人口は減少傾向にあり、またその年齢3区分別の割合は、**年少人口・生産年齢人口ともに減少する一方、老年人口は増加を続ける**予測。（出所 出水市人口ビジョン ※国立社会保障・人口問題研究所の推計値から）



出水市の一人当たりの公共施設数は、**全国平均の約2倍**

出水市では、老朽化判定のひとつの目安となる、**建築後30年以上経過した施設の割合は、48.9%**



出水市は、**286施設※、総床面積 約33万1千㎡**の公共施設を保有しています。

全て大規模改修を実施し、現状維持のまま建替えを行った場合、年間平均で約33.7億円の投資的経費がかかる試算となり、これは**現状の公共施設にかかる当該経費の約3.6倍**です（総床面積を削減しなければ財政破綻の恐れ）

※ 286施設には公営住宅・義務教育施設・病院施設を含みます。

（出所 出水市公共施設適正配置計画）

資料は、既出の資料から抜粋しています。引用元の「出水市人口ビジョン」「出水市公共施設等総合管理計画（白書・適正配置計画・保全計画）等は、いずれも市HPに掲載しています。

3 出水市公共施設等総合管理計画について（平成26～27年度策定）

「出水市公共施設等総合管理計画」は、「どんな施設がどれ位あるのか」「どんな問題点があるのか」「今後どのように管理していくのか」等について、シミュレーションを行ったうえで施設を分類して、その大きな方向性を示したものです。

「出水市公共施設白書」「出水市公共施設適正配置計画」「出水市公共施設等保全計計画」の3つで構成されており、今後は施設毎に具体的方針を定める「個別施設計画（再編+長寿命化）」を策定していきます。

本市の総合管理計画は、計画が計画で終わらぬよう、具体的な取組みとして、支所庁舎への周辺施設の統合等「シンボル事業」を行う画期的な内容となっています。



出水市公共施設等総合管理計画における4つの基本方針及び削減目標

<p>①公共施設に依存しない行政サービスへ転換する</p> <p>施設がなければサービスを提供できない、という発想をやめる。 また、必ず（市の）公共施設でなければいけないのか、根本的に見直しを行い、次世代に負担を残さない行政サービスに改める。</p>	<p>②統廃合等を除き、原則として、新規建設はしない</p> <p>原則として、新規建設はしない。やむを得ず新規建設する場合は、複合施設として整備するとともに、整備面積と同等以上の床面積を他の施設で削減する。</p>
<p>③均衡ある市勢の発展のため、公共施設の統廃合に当たっては、できる限り必要な機能を維持し、サービスの低下を招かないように努めるとともに、優先順位をつけて床面積を削減する。」</p> <p>施設が統廃合されても、できる限り必要な機能を維持するよう努める。 コスト、利用状況等を総合的に勘案した上で、廃止することが適当な施設は思い切って決断し、床面積及びコストの削減につなげる。</p>	<p>④コストの削減及び利用者負担の適正化に努める</p> <p>公共施設の維持管理等にかかるコストについて、様々な手法を用いて削減に努める。 また、受益者負担のあり方、税負担の公平性等を考慮し、公共施設の使用料の適正化に努める。</p>

【削減目標】 今後10年間で公共施設の総床面積を20%削減、最終的に**今後40年間で40%削減**する。

公共施設の今後の具体的な方針（案）

↓令和2年4月1日現在

市民
ワークショップ

施設区分	No.	施設名	場所	基本方針	建築年数	健全度	【主な機能】 再編方針（案）
(1) 市民交流施設	1	出水公会堂	出水	（学校施設との 統廃合・複合化等）	82	D	【集会・商業利用・投票所 等】 老朽化は顕著。早い時期にあり方を検討（建替えや長寿命化、統廃合）
	2	出水市民交流センター	出水		11	A	【集会・避難所 等】 当分の間は現状維持 
	3	マルマエホール出水（出水市文化会館）	西出水		46	D	【集会・講演会・文化事業 等】 老朽化が進んでいる。計画中期において、音楽ホール・中央公民館・中央図書館との複合化を検討
	4	マルマエ音楽ホール出水（出水市音楽ホール）	西出水		27	B	【集会・講演会・コンサート 等】 ※複合化（出水市文化会館に同じ） 
	5	米ノ津公会堂	米ノ津		47	D	【集会・商業利用・投票所 等】 老朽化が顕著。早い時期にあり方を検討（建替えや長寿命化、統廃合）
	6	米ノ津農村環境改善センター	米ノ津東		37	D	【集会・スポーツ・投票所・避難所 等】 老朽化が顕著。計画初期において大規模改造を実施。当分の間は現状維持
	7	高尾野農村環境改善センター	高尾野		34	C	【集会・講演・投票所・避難所 等】 計画中期において、大規模改造。当分の間は現状維持
	8	たかおの交流館	高尾野		15	C	【集会・宿泊学習・ファミサポ・投票所 等】 計画中期において、大規模改造。当分の間は現状維持
	9	江内カントリーコア	江内		45	D	【集会・出張所・児童クラブ・図書・避難所 等】 老朽化が顕著。早い時期にあり方を検討（移転減築建替・機能移転・廃止等）
	10	野田農村環境改善センター	野田		35	C	【集会・講演・投票所・避難所 等】 計画中期において、大規模改造。当分の間は現状維持
(2) 社会教育施設	1	青年の家	出水	（学校施設との 統廃合・複合化等）	51	D	【宿泊学習・集会 等】 老朽化が進んでいる。計画中期に小原山体育館と複合化し、減築建替 
	2	出水市中央公民館	西出水		46	B	【集会 等】 ※複合化（出水市文化会館に同じ）
	3	出水市生活改善センター	大川内		49	C	【集会・児童クラブ 等】 老朽化が進んでいる。計画中期に同校区内施設に複合化
	4	高尾野工芸館	高尾野		53	C	【工芸 等】 老朽化が進んでおり、他施設へ機能移転し、廃止
	5	岩淵公民館	野田		47	D	【集会・投票所・避難所 等】 老朽化が顕著。早い時期にあり方を検討（廃止・譲渡等） なお、敷地内に消防団詰所を新設
(3) 図書館等	1	中央図書館（2階は歴史民俗資料館）	出水	（学校施設との 統廃合・複合化等）	36	C	【図書館 等】 ※複合化（出水市文化会館に同じ） 
	2	歴史民俗資料館（1階は中央図書館）	出水		36	C	【資料館 等】 計画中期において、文化会館・音楽ホール・中央公民館との複合化検討に合わせ、収蔵品の集約も検討（別施設）
	3	麓歴史館	出水		3	A	【歴史館 等】 当分の間、現状維持（麓地域振興策への活用、管理は直営から指定管理等へ）
	4	高尾野郷土館・古城画伯コレクション館	高尾野		46	D	【資料館・美術館 等】 老朽化が進んでいることから、令和2年度に耐震診断を実施し、その結果を受けて改修内容を決定。当分の間は継続（収蔵品は集約の検討）

公共施設の今後の具体的な方針（案）

↓令和2年4月1日現在








施設区分	No.	施設名	場所	基本方針	建築年数	健全度	【主な機能】 再編方針（案）
(3) 図書館等	5	野田図書館（野田史料館と同一建物）	野田	（学校施設との共用化等） （統廃合・複合化）	23	C	【図書館等】 計画後期において、大規模改造による老朽化対応を行う。当分の間、現状維持
	6	野田史料館（野田図書館と同一建物）	野田		23	C	【史料館等】 計画後期において、大規模改造による老朽化対応を行う。当分の間、現状維持（収蔵品は集約の検討）
(4) 博物館・文化財	1	クレインパーク	西出水	・コスト削減 ・収入増	25	B	【博物館・ドームシアター・学習体験・集会等】 当分の間、現状維持（独自イベントによる収入確保策）
	2	税所邸	出水		-	-	【公開武家屋敷等】 当分の間、現状維持（麓地域振興策への活用）
	3	竹添邸	出水		-	-	【公開武家屋敷等】 当分の間、現状維持（麓地域振興策への活用）
	4	宮路邸	出水		-	-	【庭のみ公開等】 早い時期に麓地域振興策への活用を検討 
	5	土持邸	出水		-	-	【活用検討等】 早い時期に麓地域振興策への活用を検討
(5) スポーツ施設	1	青年の家小原山体育館	出水	（学校施設との共用化等） （統廃合・複合化）	40	C	【スポーツ・避難所等】 老朽化が進んでいる。複合化（青年の家本館に同じ）
	2	総合体育館	西出水		40	C	【スポーツ等】 計画中期に大規模改造。当分の間は現状維持 
	3	総合武道館	西出水		30	B	【武道等】 計画中期に、各地区の武道・弓道場は集約の検討（1か所か2か所か等）
	4	出水弓道場	西出水		30	C	【弓道等】 集約（総合武道館に同じ）
	5	屋内ゲートボール場	西出水		27	C	【スポーツ・合宿・集会・避難所等】 計画中期に大規模改造。当分の間は現状維持
	6	市民プール	西出水		30	D	【プール等】 老朽化が顕著で、令和2年度に詳細調査後、速やかに大規模改造。当分の間は現状維持
	7	陸上競技場	西出水		29	C	【スポーツ等】 老朽化が進んでおり、令和2～3年度に、長寿命化及びトラック全天候型の改修工事。当分の間は現状維持
	8	ブルーチップスタジアム（出水市野球場）	西出水		25	C	【スポーツ等】 老朽化が進んでおり、早い時期に長寿命化改修を行う。当分の間現状維持
	9	大川内農業者トレーニングセンター	大川内		34	C	【集会・スポーツ・避難所・投票所等】 複合化（出水市生活改善センターに同じ）
	10	高尾野体育館	高尾野		41	D	【スポーツ等】 老朽化が顕著であり、計画初期に江内・野田体育館、下水流トレセンでの集約を検討
	11	高尾野武道館（弓道場併設）	高尾野		36	C	【武道等】 集約（総合武道館に同じ） 
	12	高尾野きらめきドーム	高尾野		23	C	【スポーツ等】 計画初期に民営化を検討
	13	下水流農業者トレーニングセンター	下水流		40	D	【スポーツ・投票所・避難所等】 老朽化が顕著であり、計画初期に高尾野・江内・野田体育館での集約を検討
	14	江内体育館	江内		33	C	【スポーツ・投票所等】 老朽化が顕著であり、計画初期に高尾野・野田体育館、下水流トレセンでの集約を検討

公共施設の今後の具体的な方針（案）

↓令和2年4月1日現在



施設区分	No.	施設名	場所	基本方針	建築年数	健全度	【主な機能】 再編方針（案）
(5) スポーツ施設	15	野田体育館	野田	統廃合・複合化 (学校施設との 共用化等)	41	C	【スポーツ・避難所 等】 老朽化が顕著であり、計画初期に江内・高尾野体育館、下水流トレセンでの集約を検討
	16	野田武道館	野田		30	C	【武道・避難所 等】 集約（総合武道館に同じ）
	17	野田弓道場	野田		30	C	【弓道 等】 集約（総合武道館に同じ） 
	18	屋内相撲場(地域交流スペースと同一建物)	高尾野		19	A	雨天時や寒冷期等に活動が困難な相撲競技を行えるよう、旧めーぶるハウスを用途変更して設置（なお、解体される高尾野老人福祉センター内介護事業事務所は同建物の一室へ移転）
・児童クラブ (6) 保育園	1	東出水保育園	東出水	民営化・コスト縮減 (指定管理)	36	D	【保育園】 老朽化が顕著であり、早い時期に市立幼稚園のあり方と併せて今後の方針を検討（民営化等）
	2	米ノ津保育園	米ノ津		6	A	【保育園】 東出水保育園に同じ（健全度は高い） 
	3	大川内保育園	大川内		33	C	【保育園・地域利用 等】 複合化（出水市生活改善センターに同じ）
	4	上場保育園	上場		34	C	【保育園】 現在利用はなく、早い時期に廃止（売却・譲渡等）
	5	各児童クラブ（学校内・園内設置含）	-		-	-	【児童クラブ】 早い時期に、子育て支援計画及び学校施設等長寿命化計画を踏まえたコスト縮減策等の検討
健康・福祉・保健施設 (7) 高齢者福祉、障害者福祉、	1	出水老人福祉センター	西出水	統廃合・複合化 (他施設空きスペース機能移転)	42	D	【健診&相談・入浴・子育て支援・集会・避難所 等】 老朽化が進んでおり、計画初期での長寿命化改修を検討。子育て支援室は令和3年度移転予定。 
	2	高齢者ふれあいセンター	西出水		22	B	【集会・シルバー人材センター事務所・避難所 等】 計画初期での民営化を検討
	3	児童デイサービスひだまり	出水		45	C	【障害者福祉】 早い時期に民営化を検討
	4	児童クラブまなづる	西出水		16	A	【児童クラブ】 早い時期に、民営化を検討
	5	地域交流スペース（屋内相撲場と同一建物）	高尾野		19	A	【集会 等】 当分の間は現状維持
	6	出水保健センター	東出水		35	D	【健診&相談・集会 等】 計画初期に大規模改造。当分の間、現状維持 
	7	上場健康管理センター	上場		33	B	【健診 等】 利用率は低く、早い時期に廃止（売却・譲渡等）
	8	高尾野農業者健康管理センター	高尾野		37	C	【健診・集会 等】 令和2年度中に、出水市老人福祉センター内に設置している子育て支援室を機能移転
	9	野田保健センター	野田		29	C	【職業訓練校貸付・集会・避難所 等】 計画後期に大規模改造。当分の間、現状維持
・観光・商工 (8) 農業施設	1	出水駅観光特産品館「飛来里」・総合観光ステーション	東出水	民営化 (機能移転)	16	B	【販売・飲食・観光案内・観光協会事務所 等】 早い時期に観光政策と併せて、施設のあり方を検討。施設としては当分の間、現状維持。
	2	海の家	米ノ津東		26	A	【その他】 早い時期に周辺施設（海洋公園プール・改善センター等）を含めた今後のあり方を検討 
	3	海洋公園プール	米ノ津東		38	B	【プール】※海の家と同じ

公共施設の今後の具体的な方針（案）

↓令和2年4月1日現在

市民
ワークショップ

施設区分	No.	施設名	場所	基本方針	建築年数	健全度	【主な機能】 再編方針（案）
(8) 観光施設・商工施設・農業施設	4	ツル観察センター	荘	(機能移転) 民営化	30	C	【観光・販売等】 早い時期に今後のあり方、活用方法を検討
	5	高野山公園	高尾野		30	B	【キャンプ場・バンガロー・公園】 早い時期に民営化を検討 
	6	職業訓練施設	野田		43	D	【学校等】 適正配置計画モデル事業として、野田保健センターへ機能移転済。令和2年度に解体し、消防団詰所を新設
	7	職業訓練施設（実習棟）	野田		40	C	【実習棟】 老朽化は顕著。早い時期での売却等を検討
	8	公設地方卸売市場	西出水		21	B	【市場】 計画初期での民営化を検討
	9	特産館いずみ	米ノ津		14	B	【販売等】 計画初期での民営化を検討 
	10	大川内山村広場	大川内		23	A	【集会等】 早い時期に民営化（地域譲渡）を検討
	11	秋桜館	上場		12	A	【体験学習・集会・販売・避難所・投票所等】 早い時期に民営化（地域譲渡）を検討
	12	特産品販売所「ふれあい館」	高尾野		17	B	【販売・飲食等】 早い時期に民営化を検討 
	13	アグリセンター	高尾野		26	C	【苗等の販売・アグリスクール等】 計画初期での民営化を検討
14	野田農産加工施設	野田	30	B	【農産加工】 現状は設置目的に沿った使用がなく、令和2年度中にあり方、方向性を決定（廃止・売却、譲渡等での利活用等）		
(9) 消防施設・火葬場	1	出水消防署	東出水	は長期的には統廃合 コスト削減（火葬場）	30	C	【消防】 計画後期に大規模改造。基本的に施設は永続的に市所有
	2	石坂分署	高尾野		18	B	【消防】 基本的に施設は永続的に市所有 
	3	慈光苑	出水		33	C	【火葬場】 計画中期に、3火葬場集約の検討 
	4	高尾野斎場	高尾野		29	C	【火葬場】 集約（慈光苑に同じ）
	5	じょうらく苑	野田		31	C	【火葬場】 集約（慈光苑に同じ） 
(10) その他	1	出水商業高校	米ノ津	複合化・統廃合・複合化	62	D	【学校・体育館夜間利用等】 老朽化は顕著（棟によってはC。建築年数は最も古い棟）。早い時期に大規模改造の手法を検討。当分の間、現状維持 
	2	市役所分庁舎	出水		15	B	【倉庫・自立支援教室】 当分の間、現状維持。
-	-	屋根付き市民ふれあい広場	未定	新設	-	-	雨天時利用や熱中症対策、災害時利用等を想定した施設。現在基本構想を策定中で、外部委員会等で設置場所や設備等の検討をしています。

仮に、文化会館（2,302㎡）・音楽ホール（1,182㎡）・中央公民館（1,754㎡）・中央図書館（1,836㎡）を統合し、新たに複合施設として文化会館の1.5倍程度（3,453㎡）の施設を整備した場合、延床面積は3,621㎡減となり、公共施設全体に対し、約1.1%削減したことになります（出水市公共施設等総合管理計画目標は40年間で40%）

☞ 公共施設の今後の具体的な方針（案）について

(1) 「健全度」は、劣化度調査等によって得られた結果によって、施設の状態を4段階に区分しています。

A→B→C→Dの順で健全度が高いことを表しています（Aが最も健全度が高く、Dが最も低い。）。

(2) 「再編方針（案）」はあくまで「たたき台」であり、当面今後10年間の方向性をお示ししています。このため、40年の計画期間で示された、「基本方針」と必ずしも一致しません（方向性が決定されたもの等は、下線を引いています。）
計画時期の表現の目安は、次のとおりです。

早い時期：令和2～3年度 計画初期：令和4～6年度

計画中期：令和7～9年度 計画後期：令和10～12年度



「大規模改造」はいわゆる不具合を解消し、原状に戻すことで、「長寿命化」は、性能向上を伴い耐用年数以上の使用を可能とします。

「集約」は、同一用途の複数の施設を1か所に統合することで、再編方針（案）では最初の施設に内容を記載し、その他対象施設は○○に同じと記載しています。【例】3地区の武道館をA地区の武道館に集約 等

「複合化」は、異なる機能を1施設に複合することで、再編方針（案）では最初の施設に内容を記載し、その他対象施設は○○に同じと記載しています。【例】公民館と図書館を同一の建物内に設置 等

◎ 避難所機能について

出水市地域防災計画及び出水市避難所運営マニュアルを改正

1 出水市地域防災計画の改正

感染症予防策に消毒、3密防止、資材整備等を追加・修正

2 出水市避難所運営マニュアルの改正

避難所内の衛生管理に、具体的な衛生管理・健康管理・環境保持に関する事項を追加・修正

3 避難所開設の優先順位等の修正

☞ 具体的には・・・？

○ 避難所の増設（大川内中学校・秋桜館・津山公民館）

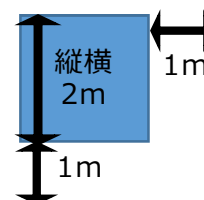
収容人数が密にならないよう、フィジカルディスタンスを考慮（総面積を一人当たりの占有面積9㎡で換算）

○ 段ボール間仕切り、隔離用テント等の確保、出入り口の消毒液の設置。

○ 入口での検温、健康チェック。換気・消毒・マスク着用。

☞ その他

○ ホテル・旅館等の活用を検討



4 使用料の見直し基本方針について

公共施設の今後のあり方を検討するうえで、「使用料」も重要な要素です。

本市では、合併以降消費税率の改正等一部例外を除き、**基本的に使用料の見直しは行われていません。**

公の施設の使用料は、施設の利用者に、その利用の対価として負担（**受益者負担**）いただくもので、その額を安価とした場合には、維持管理費や運営に要する経費を税金で賄うことになり、施設を利用しない方を含めた市民全体で負担（**公費負担**）することになります。

このため、施設を利用する人と利用しない人との負担の公平性等を考え、下記基本方針に基づき**使用料の見直しを検討**します。

1 公費負担と受益者負担の明確化

- 施設の管理、運営に必要なコストを利用者の負担として原価に参入
- 負担割合の考え方（**公共性・市場性**で負担割合を決定：性質別負担割合）

2 料金改定にあたり、原価算定方式によるコスト計算を行う

- 使用料 = 原価 × 施設の性質別負担割合（上記 1 参照）

3 利用者の負担の大幅な上昇を防ぐ

- 改定上限率を設定（市内類似施設や近隣自治体の状況等も勘案）

4 減免対象の標準化・適正化

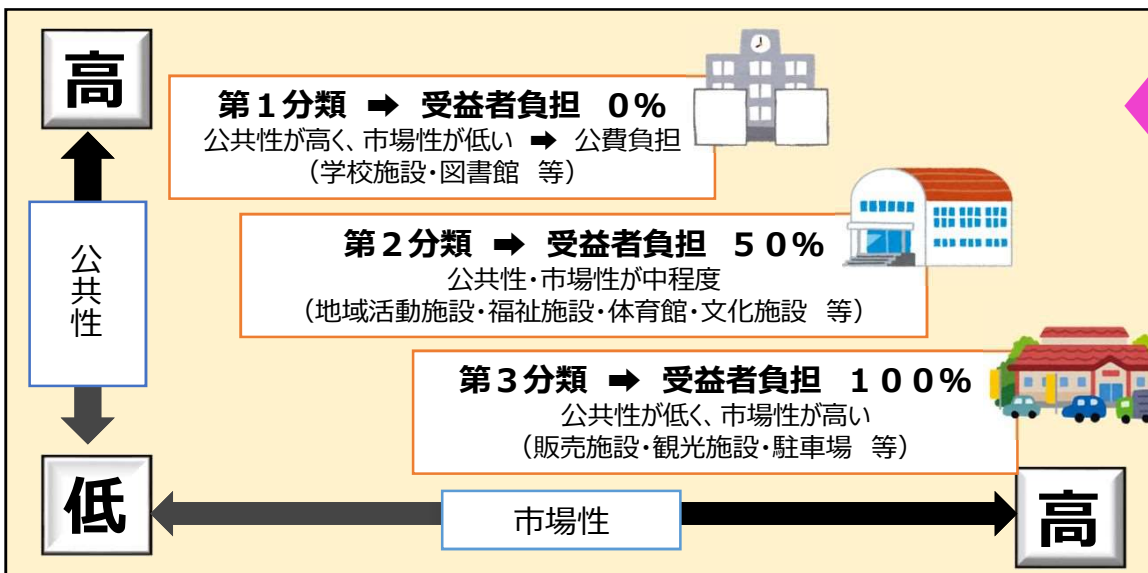
- 減免・免除制度については、あくまで特例的な措置⇒「基準の統一」を図る

《参考 現在》

市が後援、公共的団体等が公共的目的で使用 等 ⇒ 5割減額
市が主催又は共催、社会教育関係団体が設置目的に沿った使用 等 ⇒ 全額免除

5 定期的な料金の見直し

- 原則 5 年ごとに見直し作業を実施。
- 他市状況等も参考に、無料施設や使用料設定自体のない施設の有料化を検討
- コスト削減や稼働率向上、民間資源の活用等により受益者負担軽減も模索



5 市民アンケート結果 1/2

平成26年度アンケート結果（一部抜粋）※出水公共施設適正配置計画から

□市民アンケート（市内居住の15歳以上2,100人を無作為抽出 回収数803 回答率38.2%）

1 公共施設の統廃合等を進める公共施設マネジメント事業について

賛成・どちらかといえば賛成：76.5% 反対・どちらかといえば反対：6.7% わからない・無回答：16.9%

2 公共施設の老朽化に伴うコスト増加に対し、今後どうあるべきか（複数回答可）

優先順位をつけて、必要なものだけ建替え、維持：70.6%

将来世代に負担がかからないよう、減らす：25.8% 今ある施設は全て建替え、維持又は今後も増やす：3.6%



3 公共施設の建替え維持管理に必要な経費が不足する場合、どう対応すべきか（複数回答可）

統廃合し、財政状況に見合った量へ：67.7% 利用料金値上げ：17.1%

4 公共施設を廃止するとしたら、どのような公共施設が廃止の対象になるか（複数回答可）

利用者が少ない施設：63.1% 他の施設とサービス内容が重複している施設：50.1%

一部の個人・団体にしか使われていない施設：49.9% 老朽化が進んでいる公共施設等：35.4%

○ 公共施設の利用頻度

「週に1回から数回」「月に1回から数回」と回答した方の割合は、全体の約2割。「年に1回から数回」が最も多く、

「全く利用しなかった」が全体の8割を超えている

○ 施設を利用しなかった理由（複数回答可）

利用する機会がない：85.2% 施設自体を知らない：14.0% 希望する設備・機能がない：8.0%

◇利用者アンケート（一般市民の利用がある施設を対象に、利用者に直接調査票を配布し調査）

1 利用者の区分（個人・団体）

サークル等の団体利用をする施設がほとんど。 個人利用が多い施設は「中央公民館」「市民プール」「高尾野武道館」「高尾野体育館等」

2 利用者の性別

男女比で大きく差が出ている施設は、「出水公会堂」「出水市民交流センター」「総合武道館」「野球場」「庭球場」（男性が多い）、働く婦人の家※現出水保健センター2階（女性が多い）

3 利用者の年代

市民交流施設（公会堂や文化会館、農村環境改善センター等）は、40～70歳以上の利用が多い
スポーツ施設（体育館や武道場、市民プール、農業者トレーニングセンター等）は、10歳代の利用が多い

4 利用者の住まい

いずれの施設も広範囲の地区から利用されている

5 利用者の交通手段

ほとんどが「自動車」を利用 スポーツ施設は比較的「自転車」「徒歩」が多い。



6 利用時間帯

各時間帯で利用されているが、施設ごとに傾向の違いがある

5 市民アンケート結果 2/2

令和2年度アンケート結果（一部抜粋） ※市から公共施設の今後の具体的な方針（案）を提示

◇市民アンケート（市内居住の15歳以上2,500人を無作為抽出 回収数660 回答率26.4%）

1 公共施設に求めること（複数回答可）

幅広い世代に使われる：378人 多目的トイレやバリアフリー等弱者に優しい：357人
民間に比べて使用料が安い：354人

利用に制限がない（多目的に使える）：266人 利用者が多い（稼働率が高い）：248人

空調・インターネット等機能が充実：239人 居住地に近くにある：208人

職員が常駐し、施設の利用等について相談できる：138人



2 老朽化等で増加するコストに対し、どの程度の利用料金の値上げが適当か

値上げが適当：309人 値上げすべきでない：140人 分からない・未回答：211人

うち、値上率 11%以上50%以下：230人 10%以下：41人



51%以上100%以下：23人、その他の値上率：15人

3 公共施設を更新する場合、「建替え」と「長寿命化」どちらが良いか

「長寿命化」「コスト次第で長寿命化」：375人 「建替え」：120人 その他・未回答：165人



うち「建替え」だと費用が2倍以上3倍未満かかるなら「長寿命化」が良い：45人

3倍以上4倍未満かかるなら「長寿命化」が良い：21人



4 公共施設の今後の具体的な方針（案）への御意見・回答者のアイデア（5つまで可）

(1)市民交流施設：65件 (2)社会教育施設：35件 (3)図書館等：41件 (4)博物館・文化財：57件

(5)スポーツ施設：89件 (6)保育園・児童クラブ：32件 (7)高齢者、障害者福祉施設、健康・保健施設：44件

(8)観光・商工・農業施設：46件 (9)消防施設・火葬場：23件 (10)商業高校・分庁舎：23件

※ 主な御意見・アイデア等は、別冊のとおり

5 良く使う施設（複数回答可）

中央図書館：46人 特産館いずみ：43人 総合体育館：23人 市民プール：15人

マルエホール出水（文化会館）：13人 クレインパーク：12人 きらめきドーム：11人 市民交流センター：11人

高尾野体育館：10人 中央公民館：10人

※ 集計結果については、小数点以下の端数処理や複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない場合があります。

6 参考資料（他自治体の取組み・国の助成制度等）

事例1 民間提案による公共施設利活用促進

通常3～5年程度の指定管理期間を20年とし、民間提案による施設の管理・収益事業を展開。

➔ 長期的な経営戦略が可能となり、サービス向上への投資が可能。

自治体は指定管理費を支出せず、逆に基本納付金、さらに収益の一部を変動納付金として指定管理者から納付してもらう。



多様な市民サービス創出・コスト削減・収益の一部は新たな財源として施策へ還元

事例2 補助金に頼らない新たな公民連携

収益施設整備にあたり、計画から予想される収益を逆算して、**採算に応じたコスト内**で段階的に建設。

➔ とすれば公益性を理由に、赤字経営が見過ごされてきた公共施設について、マーケットを見極め、**経営分析に基づいた持続可能な管理・運営**を行う。



金額に見合う価値の最大化・民間事業者の採算性・安定性の確保、自治体と民間事業者の適切なりリスク分担

事例3 学校プールの共用化・市民プール活用

年間2か月程度しか利用がないが、ろ過機など設備を含め高コストかつ管理に係る現場負担の**大きい学校プール**について、**小学校は全廃し、屋内市民プールや中学校プール**を利用。

➔ 屋内プールは天気に左右されず、水温等年間を通じて安定した水泳環境を提供。

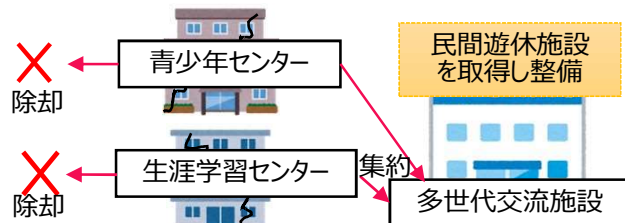
移動手段確保や日程調整は必要だが、更新・管理に係るコスト縮減、現場負担の軽減を可能にする。



事例4 民間施設活用+複合化事業

民間企業が所有する遊休施設を市が取得し、**老朽化した青少年センターと生涯学習センターを集約**し、新たな子育て支援・地域交流機能を導入した**複合施設**として整備。

➔ 青少年センターと生涯学習センターの集約化で**床面積を削減**⇒多世代交流施設へ改修。国の最適化事業債を活用

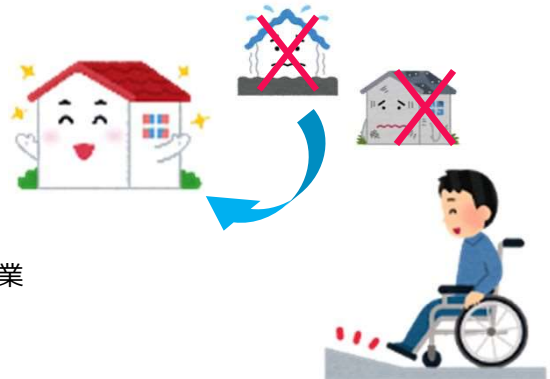


助成制度等

公共施設等適正管理事業債

※ 国等から事業に要する資金の借入れができ、その一部は後から地方交付税として交付される制度です。

- ① **集約化・複合化事業**
延床面積の減少を伴う集約化・複合化事業
- ② **長寿命化事業**
施設の使用年数を超えて延長させる事業
- ③ **転用事業**
他用途への転用事業
- ④ **立地適正化事業**
コンパクトシティの形成に向けた長期的なまちづくりの視点に基づく事業
- ⑤ **ユニバーサルデザイン化事業**
公共施設のユニバーサルデザイン化のための改修事業
その他、市町村役場機能緊急保全事業、除却事業等



市の再編案や使用料見直し方針等について、「あなたの」率直な意見を聞かせてください！

市の再編案や使用料見直し方針等の「良いところ」や「賛同できる理由」は、青いふせんに！

〇〇と△△が複合化されれば、申請手続きの間、子供たちが退屈しないわ♪

古くて使いにくい〇〇が複数あるより、新しくて機能的な施設に集約した方が、自然と人が集まりそう♪



市の再編案や使用料見直し方針等に対する「懸念、問題点等」はピンクのふせんに！

集約される側の施設を使ってた利用者は、移動距離が遠くなってしまう…

無料だから使ってたんだ！使用料をとられるなら、もう使わない！



長寿命化 建替え	統合 集約	複合化	規模縮小	転用	指定管理 業務委託	民営化	廃止 ※公共施設として
機能性・耐久性を高める等	同種の施設をまとめる	異なる機能をまとめる	一部取壊や減築等	よりニーズの高い事業で利用等	市所有のまま運営を民間が行う	民間ノウハウ活用・サービス向上	取り壊し売却等
その他 使用料の見直しや有料化・稼働率向上で収益を上げ、維持管理費を賄う 等							

懸念、問題点等に対し、「あなたが市長なら」どうやって解決するか、意見やアイデアを黄色のふせんに！

集約するなら、〇〇の方が、駐車場が広く、比較的建物も綺麗だわ♪

ハコモノを作るより、その分対象者が公平に恩恵を受けられる〇〇事業を提案します！

〇〇したら、利用者が固定化しないで、みんなが使い易くなるんじゃないかしら。

使用料が上がっても、〇〇設備が充実すれば逆に利用者が増えるぞ…！

